

コロナ禍で過ごした3年間

令和2(2020)年2月から令和5(2023)年5月までを振り返る

令和2(2020)年2月27日、政府の第15回新型コロナウイルス感染症対策本部が開催され、全国すべての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校について、3月2日から春休みまで、臨時休業を行うよう要請がありました。翌日28日に学園に危機対策本部が設置され、目前に迫った卒業式、新年度における入学式をどのように執り行うか、園児・生徒・学生へ教育活動の継続をどのように行うかなど、さまざまな対応を行ってきました。また、新年度に入ってから大阪府の要請を受け、5月6日まで休校、休園が続きました。その間、教職員においても、感染拡大対策として、時差出勤や在宅勤務が取り入れられました。

この3年間は、あらゆる場面において「感染拡大防止措置」がとられ、教育活動の制限も多くありました。そして、令和5(2023)年5月8日、新型コロナウイルス感染症は5類感染症に位置付けられ、「元」の生活に戻りつつあります。そこでこの3年間の教育・研究活動、課外活動における取り組みについて、設置校長に新たな発見なども含めて振り返っていただきました。



大阪体育大学・大学院
学長 原田 宗彦



大阪体育大学浪商中学校・高等学校
校長 工藤 哲士



大阪青凌中学校・高等学校
校長 向 忠彦



大阪体育大学浪商幼稚園
園長 松井美奈子

Q1.

率直に。初めてコロナウイルスが発表されたとき、これほど長く続くと思っていましたか。

大阪体育大学・大学院 原田学長(以下原田)

中国で原因不明の肺炎が発生したとの報道を受けて日本にも影響があるとは考えていましたが、ここまで深刻な事態になるとは想像していませんでした。2009年の新型インフルエンザの流行は1年以内で収まっており、長くてもそれぐらいと考えていましたが、まさか3年も続くとは想定外でした。

大阪体育大学浪商中学校・高等学校 工藤校長(以下工藤)

これほどまでに社会全体に大きな影響を及ぼし、長期化する問題に発展するとは思いませんでした。

大阪青凌中学校・高等学校 向校長(以下向)

正直、長くても1~2年と思っていました。

大阪体育大学浪商幼稚園 松井園長(以下松井)

数ヶ月で収束するとも、水際対策で防げるとも思ってはいませんでした。楽観はしていなかったものの、ここまで続くとは予想していませんでした。

Q2.

休業要請、また緊急事態宣言の発出が予測され始めたころ、まず初めに取り組まれたことは何ですか。

原田 2020年1月31日に新型コロナに関する注意喚起を初めて行いました。2月1日に中国への渡航中止などを打ち出し、2月11日に危機管理委員会で対応していくことを決定。2月28日に卒業式の中止、クラブの合宿自粛、3月12日に入学式の中止、13日にクラブ活動の停止を決め、3月27日には10回にわたる危機管理委員会の開催を経て新型コロナウイルス対策本部の設置を決定しました。

何よりも学生にとって安心・安全な環境をつくることを最優先に取り組み、かつてないような危機に対して、教職員が一体になって学生ファーストの視点に立って行動できたと感じています。

工藤 他校からの情報収集、情報交換を行いながら、学習課題、クラブ、健康管理、寮対応、勤怠管理等、日々、休業に伴う準備に追われていました。まず初めというより、全てを並行して進めていたように思います。

向 4月7日の入学式当日に、新入生にiPad（キitting済）を配付。新入生にiPadの使い方のガイダンスを配信。在校生が1人1台iPadを所持する環境が年度当初に整うように、準備を急いでやりました。

松井 大きく2点です。1点目は保育の予定・体制の調整です。さまざまなパターンを予測し、パターンに応じた体制を幾通りも考えました。

もう1点は、感染対策物品の不足が予想されましたので、マスク・消毒薬等を確保すべく業者に手を打ちました。

Q3.

コロナ禍の3年間の教育活動において、困難だったことは何ですか。また、スムーズに取り組めたことも教えてください。

原田 実技や実習で、学びの場や質を確保することが困難でした。本学は他大学に比べて実技や実習が充実していることが大きな特徴ですが、特に実技はオンラインでの指導が難しく、オンラインでの指導について試行錯誤を重ねました。実習は、教育実習は先方から受け入れを断られて中



学内に手洗い場が設けられた。また公募されたポスターも掲示された(大阪体育大学)

止し、インターンシップ実習も実施できず、野外活動実習は、1年目はスキー実習を除いてすべて中止しました。

一方でオンラインでの講義はスムーズに実施できました。4月1日に「オンライン会議・遠隔授業の手引き」を制作してポータルページで公開し、教員対象のオンライン授業体験会を実施するなどの準備が活きたと思います。5月には遠隔授業環境整備支援金として全学生に3万円を支給し、Wi-Fiルーターの用意、パソコンのレンタルなど通信環境の整備に努めました。

工藤 寮関係、クラブ活動、ICTを活用した学習関係、勤怠関係、分散登校、感染対策をはじめ、困難な対応ばかりでした。スムーズに取り組めたことはあまり記憶に残っていません。

向 学校行事の実施にはかなり制限がありました。体育祭や海外研修は中止になりましたが、修学旅行と青凌祭は内容を変更しながらも実施しました。

休校期間中、「Google Classroom」での課題配信と提出はスムーズにいきました。

松井 今まで当たり前に行ってきた教育活動が行えないことに身の置き所がないほど焦りを感じてきました。園児の全ての教育活動の確保が困難でした。保護者との対話の機会が殆どなくなったために、相互理解が進みにくかったこともマイナスの影響のひとつです。

子ども同士は直接の触れ合いの中で温もりを感じるも



伝統の園外保育「いも掘り」。コロナ禍でも感染対策を徹底し実施した(浪商幼稚園)

のです。年齢が低ければ低いほど触れ合うことで安心感を得たりつながりを感じたりし、情緒的に安定もします。これを控えさせることの辛さは法人の各機関の中で幼稚園の職員が最も感じてきたかも知れません。

一方、職員にとっては、例えば分散登園に付随して園バスの運行しかり全てのことの調整をしなければならない等、業務増にならざるを得ませんでした。職員の周辺の感染や休校などの影響で職員の数が足りないことも本当に大変でした。スムーズに取り組めたことは、思い当たりません。

Q4.

授業形態の変化、学校行事、クラブ活動などの課外活動の制限など、園児・生徒・学生はこのコロナ禍をどのように受け止めていると感じていましたか。

原田 学生にとっては、キャンパスへの入構が停止となる時期が長く、対面での授業もクラブもできず、1年生は友達ができないなど、心理的な負担は極めて大きかったです。下宿生は公共交通機関の利用も制限されて実家に帰ることも難しく、下宿で一人孤立しがちで、メンタル面のケアが急務でした。

工藤 生徒たちはやり場のない、やりきれない気持ちを抱きながら、現実を受け止めるしかない状況でした。受け入れざるを得ない現実と向き合いながら、日々、葛藤の中、学生生活を送っていたことと思います。そのような中、当たり前前に過ごしていた日常のありがたさ、他者への感謝を見出そうと奮闘していたように感じます。

向 生徒たちには我慢してもらうことが多くあったので

すが、ありがたいことに大きな不満はありませんでした。

ただ、生徒たちにとって、昼食の「黙食」はつらかったと思います。

松井 年齢が小さいので、コロナ禍の全容はあまり理解ができていなかったと思います。でもマスクや消毒、パーティションなど感染症対策や教育活動の変更についての受け入れは従順というか非常にスムーズでした。大人は「あれもできない、これもできない」と引き算で考えがちですが、子どもたちは、今ある環境の中で楽しみを見い出して園生活を送っていました。子どもの順応力にはこちらが学ばされました。

Q5.

「対面授業」→「オンライン授業」→「ハイブリッド授業」など形を変えながら3年が経ちました。いわゆる「オンライン授業」における今後の可能性と、「対面授業」の重要性をどのように感じていますか。

原田 コロナ禍の副産物としてオンライン授業のノウハウを得たことは大きな財産だと言えます。学生がクラブ活動で大学を離れる場合でも、学びの機会を確保することが可能になりました。大学院はオンライン受講制度の導入で全国や外国からでも受講できるようになり、今年5月スタートした社会人向けリカレント講座の「運動部活動指導認定プログラム」はオンデマンドとハイフレックスの併用で全国から60名が受講しています。本学のような首都圏から離れた大学にとって、オンライン授業の確立は全国や



令和4(2022)年度体育祭。高校2年生女子生徒全員による集団演舞(ダンス)
(大阪青凌中学校・高等学校)

制限のかかる中、マスク姿で臨んだ令和4(2022)年度入学式
(浪商中学校・高等学校)



外国からの参加を可能にし、さらなる飛躍のきっかけとなる可能性があります。

一方で、オンライン授業が浸透したことで、対面授業の価値も改めて実感しました。本学は伝統的に教員と学生の距離が近く、クラブや実習などを通じて学生間、学生と教職員間の人間関係、絆が太いです。濃密な人間関係を通じて育まれる対人交渉力や協調性などの非認知能力の高さは、本学の学生の大きな特徴であり、これらは授業を含めた「対面」を通して磨かれます。オンラインと対面双方を活用していくことが、今後の大学運営には必要になります。

工藤 「オンライン」は緊急対応だけではなく、教育現場においても高大、産学、地域連携をはじめ校外外で日常的に広く活用されています。ICT環境を整備し、そのスキルを磨くことにより、さまざまな可能性が広がります。

同時に「対面授業」は教員、生徒間で生きたコミュニケーションをはかれる今後も欠かせない場です。双方のメリット・デメリットを理解し、併用、融合させた教育を実践できるよう努めたいと思っています。

向 現在でも年に2回、オンラインでの授業日を設定しています。引き続きオンライン授業をブラッシュアップしていきたいと思っています。

ただ、言うまでもなく「対面授業」における学習内容の定着度とは比ぶべくもありません。これからも生徒たちには安心して「対面授業」で力をつけていってほしいと思います。

松井 幼稚園は初めての集団生活で人間関係づくりの土台を作る場所です。人間関係の土台ができあがっており、集団生活のルールが身につけている年齢ならば、「非対面」で広がる世界は無限です。

長じて「非対面」で世界を広げられる人になれるよう、幼稚園では頑丈な土台作りとして「直接体験」を徹底的に積ませたい、積ませるべきと考えます。

大阪府に発出された緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の発令期間

緊急事態宣言	令和2(2020)年 4月7日(火)～5月31日(日)
緊急事態宣言	令和3(2021)年 1月14日(木)～2月28日(日)
まん延防止等重点措置	令和3(2021)年 4月5日(月)～4月24日(土)
緊急事態宣言	令和3(2021)年 4月25日(日)～6月20日(日)
まん延防止等重点措置	令和3(2021)年 6月21日(月)～8月1日(日)
緊急事態宣言	令和3(2021)年 8月2日(月)～9月30日(木)
まん延防止等重点措置	令和4(2022)年 1月27日(日)～3月21日(月)
5類感染症に変更	令和5(2023)年5月8日

各設置校においては、令和2(2020)年2月以降、学生・生徒・園児の安心・安全を最優先に考えていただき、臨時休校や重要な式典・イベント実施に制限が加わる中で、記憶に残る精一杯の対応を行っていただきました。授業や保育、生活支援についても、通常業務にない負担をおかけしたかと思います。5類に引き下げとなりましたが、引き続き体調には十分留意いただき、学園の建学の精神「不断の努力により 智・徳・体を修め 社会に奉仕する」に基づき、学生・生徒・園児への教育をお願いいたします。

1. 令和4年度 事業報告書

■ 学校法人 浪商学園 法人本部 URL <https://www.namishogakuen.jp>

- 各設置校の特色を尊重した教育方針に対して支援を行うため、中高・幼稚園では定期的な戦略会議を行い、生徒・園児募集につながる対策を検討しました。また、大学の魅力を最大限に発揮するために「幼児教育」課程の導入や「学部改組」に向けた方針の確認を行いました。
- クレドカードに「SOSHIKI FUDO GOALS 浪商学園をより良くするための17の目標(SFGs)」を盛り込み、刷新。対象も全設置校教職員に拡大しました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け1年延期となりましたが、令和4(2022)年11月6日に開催した学園創立100周年記念式典において、学園が日ごろから支援を受けている行政や教育界、関係先企業、卒業生、現職の教職員に向けて100周年の歩みやビジョンの発信ができました。
- ウクライナ情勢による物価高騰の影響を受け、想像をはるかに超える電気代の高騰、また新型コロナウイルス対応が緩和されたことによる教育関連の支出が高騰しました。しかしながら、収入の増に向け設置校と調整を行い、さまざまな取り組みを実施しました。

■ 大阪体育大学(大学院・体育学部・教育学部) URL <https://www.ouhs.jp>

- 受験生への募集力の向上を図るため、「シンプルかつ明確な入試制度のあり方の検討と運営体制の改善」および「募集活動の充実と強化」に取り組みました。本学の特色となる強みをPRし、高校生インサイトのマーケティング戦略により募集活動および広報活動を積極的に進めていきました。
- 将来の職業選択に向け、実際に見て感じて考える機会を提供しています。見学ツアーを実施することで、さまざまな業種で活躍する先輩にアドバイスいただいています。
- 南洋理工学(シンガポール)とMOU調印式を執り行いました。学年度ごとに最大30名の学生の交換留学を行い、留学生たちに交流事業やインターンシップ、トレーニング、ワークショップなどの機会を提供することで合意に至りました。
- 浪商学園100周年記念事業として「浪商学園100周年記念OUHS スポーツキャンプ」を大阪府の特別協力も得て規模を拡大し、大阪体育大学と大阪体育大学浪商中学校・高等学校で開催しました。

■ 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 URL <http://www.ouhs-school.jp>

- クラブ活動を目的に入学を希望する生徒が多数いることから、学校全体で企画運営するクラブ体験、見学に加え、各クラブ単位で体験内容等も工夫を凝らし、実施時期や回数を増やし、参加者増、定員確保に努めました。
- 近隣の医療系を中心に7校と連携協定を結んでいます。在学時からさまざまな分野を知ることにより、幅広い進路選択が可能となるよう交流会、講座、説明会など積極的な働きかけを進めました。
- 総合的な探究時間では、「食」と「物」をテーマとしたグループワークを実施しました。「物」部門ではココヨ株式会社との連携、全面的な協力のもと「アイデア商品企画」を題材とし、校内選考から選抜された優秀班がココヨ株式会社本社にてプレゼンテーション発表を行いました。
- 近年は運動部の活躍が著しく、今年度は熊取移転後、最高の実績を残してくれました。授業、クラブ、キャリア、スポーツ科学のサポートなど中高大連携事業が進んでいることが大きな要因となっています。

■ 大阪青凌中学校・高等学校 URL <https://www.osakaseiryo.jp>

- 学校推薦型選抜と総合型選抜を活用して、国公立大学や関関同立を受験する指導を促進しました。加えて、大学入試共通テスト、私立大学・国公立大学対策の入試対策セミナーを実施しています。また、国公立大受験生に対しては、前期中期後期の出願戦略として、四者面談を実施しました。
- 海外修学旅行が再開され、令和4(2022)年10月11日から16日の5日間、オーストラリアへの修学旅行が実施されました。ホストファミリーとの交流、現地大学生と班別研修など、生徒たちにとっては大いに刺激となる体験となりました。
- コロナ禍の状況により1日だけとなりましたが、令和5(2023)年1月21日、伝統行事である中学生の剣道寒げいこを体育館で実施しました。11度目の開催ですが、島本校舎移転後では、初開催でした。
- 教員の働き方改革の一環として、デジタル採点システムの導入を検討しました。導入されている学校への訪問や実際のテストでデモを実施するなど検証を重ね、次年度に本格導入予定です。これにより、採点にかかる時間を大幅に短縮することが期待されます。

■ 大阪体育大学浪商幼稚園 URL <https://namishokinder.jp/>

- 少子化を勘案し、令和4年度よりクラス数をこれまでの各学年4クラスから標準2クラス、イマージョン1クラスの計3クラス編成へと順次進めています。令和6年度に完了予定です。
- 幼稚園は道路を挟んで安威川に面しており、水害時の浸水は3m以上と予想されています。園舎は2階建てのため園内では垂直避難ができません。そこで12月に幼稚園から約500m離れた茨木市立東市民体育館まで、全園児で徒歩による垂直避難訓練を初めて行いました。
- 相互理解の基に園運営を進めるために、園長・教頭・主任・イマージョン運営責任者をメンバーとし運営委員会の定期開催を本運用しました。相互理解、情報共有、コミュニケーションの円滑化が図られました。

2. 令和4年度 決算の概要

令和4年度 資金収支計算書

収入の部 (単位:千円)

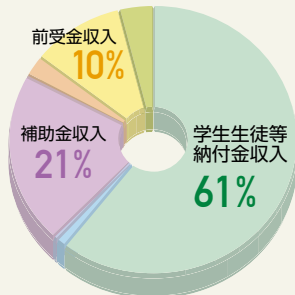
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	4,493,330	4,492,668	662
手数料収入	80,160	81,400	▲1,240
寄付金収入	38,870	40,563	▲1,693
補助金収入	1,441,580	1,535,885	▲94,305
(国庫補助金収入)	446,210	522,524	▲76,314
(府県補助金収入)	995,370	1,013,362	▲17,992
資産売却収入	50	45	5
付随事業・収益事業収入	18,170	21,282	▲3,112
受取利息・配当金収入	20	32	▲12
雑収入	159,780	181,632	▲21,832
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	718,930	769,435	▲50,505
その他の収入	276,300	280,515	▲4,215
資金収入調整勘定	▲991,490	▲1,020,586	29,096
前年度繰越支払資金	2,619,060	2,619,066	
収入の部合計	8,854,760	9,001,918	▲147,158

支出の部 (単位:千円)

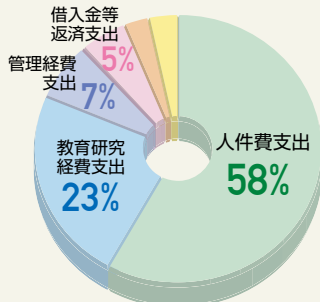
科目	予算	決算	差異
人件費支出	3,698,672	3,665,358	33,314
教育研究経費支出	1,549,640	1,445,208	94,432
管理経費支出	443,340	437,160	6,180
借入金等利息支出	12,990	12,985	5
借入金等返済支出	329,830	329,830	0
施設関係支出	197,830	184,462	13,368
設備関係支出	201,335	200,353	982
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	481,920	476,923	4,997
予備費	121,742		121,742
資金支出調整勘定	▲571,180	▲431,125	▲140,055
翌年度繰越支払資金	2,388,640	2,670,764	▲282,124
支出の部合計	8,854,760	9,001,918	▲147,158

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります
※()の科目は内数です

- 学生生徒等納付金収入
- 手数料収入
- 寄付金収入
- 補助金収入
- 付随事業・収益事業収入
- 雑収入
- 前受金収入
- その他の収入



- 人件費支出
- 教育研究経費支出
- 管理経費支出
- 借入金等利息支出
- 借入金等返済支出
- 施設関係支出
- 設備関係支出



令和4年度 事業活動収支計算書

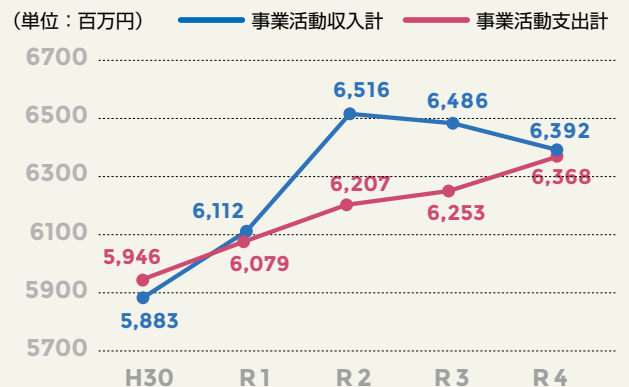
(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	4,493,330	4,492,668	662
手数料	80,160	81,400	▲1,240
寄付金	40,070	41,778	▲1,708
経常費等補助金	1,441,580	1,535,885	▲94,305
付随事業収入	18,170	21,282	▲3,112
雑収入	159,780	184,428	▲24,648
教育活動収入計	6,233,090	6,357,442	▲124,352
人件費	3,661,090	3,649,443	11,647
教育研究経費	2,314,030	2,220,919	93,111
(減価償却額)	764,160	765,453	▲1,293
管理経費	511,040	505,313	5,727
(減価償却額)	67,700	67,195	505
徴収不能額等	1,120	580	540
教育活動支出計	6,487,280	6,376,255	111,025
教育活動収支差額	▲254,190	▲18,813	▲235,377
受取利息・配当金	20	32	▲12
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	20	32	▲12
借入金等利息	12,990	12,985	5
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	12,990	12,985	5
教育活動外収支差額	▲12,970	▲12,953	▲17
経常収支差額	▲267,160	▲31,766	▲235,394
資産売却差額	0	45	▲45
その他の特別収入	6,710	10,628	▲3,918
特別収入計	6,710	10,674	▲3,964
資産処分差額	3,510	2,260	1,250
特別支出	0	0	0
その他の特別支出計	3,510	2,260	1,250
特別収支差額	3,200	8,413	▲5,213
予備費	193,150		193,150
基本金組入前当年度収支差額	▲457,110	▲23,353	▲433,757
基本金組入額合計	▲743,840	▲444,062	▲299,778
当年度収支差額	▲1,200,950	▲467,415	▲735,355
前年度繰越収支差額	▲15,199,860	▲15,199,858	▲2
翌年度繰越収支差額	▲16,400,810	▲15,667,273	▲733,537

参考 (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
事業活動収入計	6,239,820	6,368,147	▲128,327
事業活動支出計	6,503,780	6,391,500	112,280

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります
※()の科目は内数です



資金収支の推移

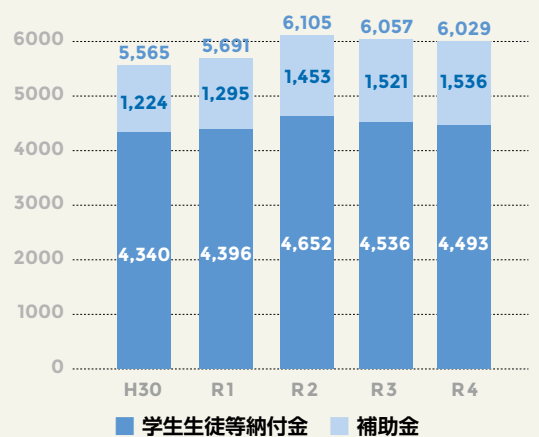
(単位：千円)

部	科目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	収入の部	学生生徒等納付金	4,340,480	4,396,329	4,652,183	4,536,390
手数料		105,067	99,848	83,343	86,953	81,400
寄付金		30,752	39,845	87,635	76,946	40,563
補助金		1,224,497	1,294,973	1,453,462	1,521,078	1,535,885
資産売却		2,536	506,450	66	1,781	45
付随事業・収益事業		71,736	50,396	29,868	43,159	21,282
受取利息・配当金		12,076	16,548	2,727	876	32
雑収入		87,666	198,652	185,765	198,857	181,612
借入金等		2,045,000	555,000	0	0	0
前受金		909,566	936,974	855,947	861,350	769,435
その他の収入		179,886	216,770	285,710	360,420	280,515
資金収入調整勘定		▲1,013,064	▲990,231	1,201,442	▲1,128,210	▲1,020,586
前年度繰越支払資金		1,629,834	2,454,281	1,987,344	2,325,066	2,619,066
収入の部合計		9,626,031	9,775,836	8,422,606	8,884,665	9,001,918
支出の部	人件費	3,376,898	3,481,403	3,684,582	3,721,223	3,665,358
	教育研究経費	1,266,513	1,264,892	1,331,529	1,268,581	1,455,208
	管理経費	458,639	446,261	371,536	385,228	437,160
	借入金等利息	5,058	15,864	15,086	14,219	12,985
	借入金等返済	150,000	650,000	199,000	329,890	329,830
	施設関係	1,445,539	1,512,669	368,095	179,107	184,462
	設備関係	288,607	306,848	299,822	320,645	200,353
	資産運用	0	0	0	0	0
	その他の支出	565,121	418,619	348,818	620,841	476,923
	資金支出調整勘定	▲384,626	▲308,063	▲520,929	▲574,136	▲431,125
	翌年度繰越支払資金	2,454,281	1,987,344	2,325,066	2,619,066	2,670,764
	支出の部合計	9,626,031	9,775,836	8,422,606	8,884,665	9,001,918

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

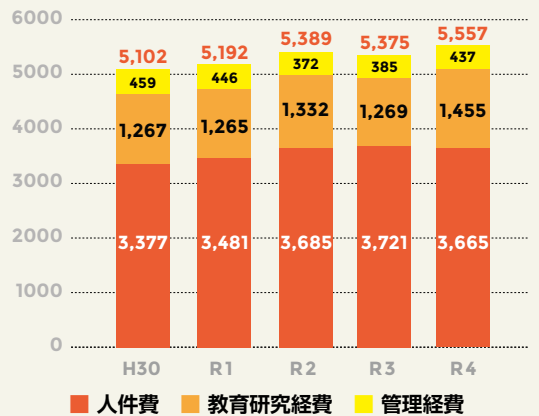
学生生徒納付金 + 補助金の推移

(単位：百万円)



人件費・教研費・管理経費の推移

(単位：百万円)



学生・生徒・園児数・入学者数・入園者数の推移

入学者・入園者数の推移

学校名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
大阪体育大学	大学院	30	19	31	24	35
	体育学部	548	554	583	539	555
	教育学部	150	136	145	142	128
浪商高等学校	254	213	256	251	234	
浪商中学校	36	21	38	36	34	
大阪青凌高等学校	297	378	362	306	292	
大阪青凌中学校	20	15	35	30	14	
浪商幼稚園	117	121	125	119	91	
合計	1,452	1,457	1,575	1,447	1,383	

※各年度5月1日現在の人数

学生・生徒・園児数の推移

学校名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
大阪体育大学	大学院	収容定員	66	66	66	66	66
		在学者数	71	66	60	66	78
	体育学部	収容定員	2,000	2,040	2,080	2,080	2,080
		在学者数	2,179	2,202	2,255	2,217	2,219
	教育学部	収容定員	500	500	500	500	500
		在学者数	573	593	602	577	552
浪商高等学校	募集定員	945	945	945	945	945	
	在学者数	712	676	699	694	719	
浪商中学校	募集定員	240	240	240	240	240	
	在学者数	110	95	95	92	106	
大阪青凌高等学校	募集定員	960	960	960	960	960	
	在学者数	795	918	1,012	1,011	929	
大阪青凌中学校	募集定員	240	240	240	240	240	
	在学者数	53	50	73	78	73	
浪商幼稚園	収容定員	360	360	360	360	360	
	在学者数	321	326	356	361	331	
合計		4,814	4,926	5,152	5,096	5,007	

※各年度5月1日現在の人数

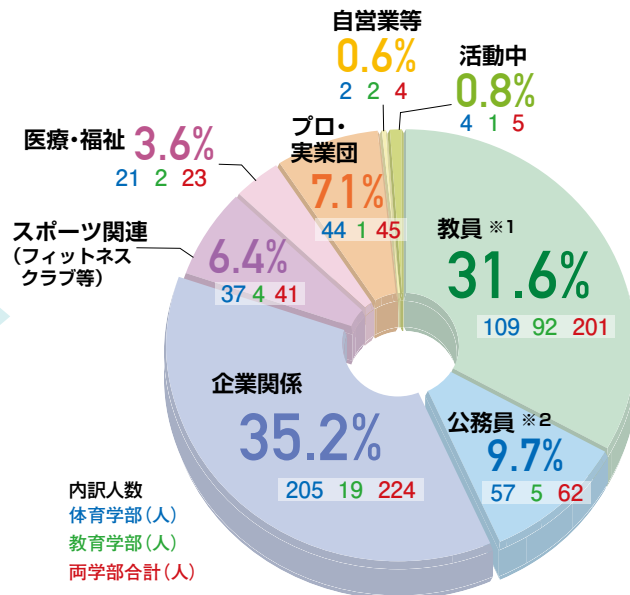
令和4年度 卒業生 進路状況等 (9月卒業生含む)

大阪体育大学

項目	体育学部	教育学部	両学部
卒業生	506	130	636
就職希望者(進学・その他を除く)	479	126	605
就職者(アルバイト・活動中・進学・その他を除く)	475	125	600
就職率	99.2%	99.2%	99.2%

令和5年5月17日現在

※1 令和4年度の教員(現役専任)合格者数は延べ71名です。
 ※2 令和4年度の公務員(教員除く)合格者数は延べ91名です。



令和4年度 大学入試 合格実績 (浪人生含む)

大阪体育大学浪商高等学校

大阪青凌高等学校

大阪体育大学

他エリアの私立大学

関西の主な私立大学

国公立大学

学部名	人数
体育学部	47
教育学部	8

学校名	人数
創価大学	1
日本大学	1
國學院大学	1
帝京大学	1
東海大学	1
中京大学	1
朝日大学(医学部)	1
防衛大学校	1

学校名	人数
関西大学	4
関西学院大学	4
同志社大学	4
立命館大学	1
近畿大学	20
京都産業大学	7
甲南大学	1
龍谷大学	6
関西外国語大学	16
佛教大学	6
大阪経済大学	10
摂南大学	7
神戸学院大学	13

学校名	人数
追手門学院大学	11
桃山学院大学	36
桃山学院教育大学	3
四天王寺大学	7
大阪産業大学	19
大阪芸術大学	2
大阪医科薬科大学	1
兵庫医科大学	2
関西医療大学	5
大阪河崎リハビリテーション大学	4
東京医療保健大学	1

学校名	人数
大阪大学	1
神戸大学	1
大阪公立大学	2
和歌山県立医科大学(医)	1
滋賀大学	3
和歌山大学	3
大阪教育大学	1
奈良教育大学	1
滋賀県立大学	5
兵庫県立大学	2
静岡大学	1
富山大学	1
三重大学	1
鳥取大学	2
愛媛大学	1
高知大学	1

学校名	人数
山口大学	1
宮崎大学	1
他	7

関関同立

学校名	人数
関西大学	59
関西学院大学	21
同志社大学	23
立命館大学	42

産近佛龍

学校名	人数
京都産業大学	103
近畿大学	231
佛教大学	137
龍谷大学	51

令和5(2023)年度 学園設置校入試結果

設置校	募集数	志願者数	合格者数	入学者数	
大阪体育大学	体育学部	520	988	826	531
	教育学部	125	365	281	141
	計	645	1,353	1,107	672
大学院	30	32	29	28	
大阪体育大学浪商高等学校	260	830	805	278	
大阪青凌高等学校	280	857	848	304	
大阪体育大学浪商中学校	35	53	50	40	
大阪青凌中学校	30	65	42	29	
大阪体育大学浪商幼稚園 3歳児	120	90	79	79	
合計	1,400	3,280	2,960	1,430	

※幼稚園は3歳児のみ記載 ※令和5年5月1日現在